



はばたきⅡ

鯖江市河和田小学校
河小だより No.11
辻岡義介 R3.8.30

全国的な新型コロナ感染の拡大の中で、学校が再開される状況に心配な保護者の方々も多いと思われます。学校では、今まで同様、玄関での検温・体調チェック、マスクチェック、消毒を行い、学校内では、手洗い、換気の徹底、ソーシャルディスタンスを意識した活動をしていきます。

子どもたちが、安心して笑顔で活動できるように教職員一同、がんばってまいります。

ご家庭でも朝のチェックや帰宅後の新型コロナ対策を意識した過ごし方について、ご協力をお願いします。

1 9月学校行事の延期

新型コロナ感染拡大が続く状況の中で、2学期早々の学校行事である、校外学習（1～4年）、宿泊学習（5年）の延期を決めました。宿泊学習は再延期となります。子どもたちが楽しみにしている行事ですが、ワクチン接種が進み、現在の状況が緩和されて、より安全に活動できることを願って延期しました。ご理解、ご協力の程お願いします。

今のところ、校外学習（1～4年）は10月下旬、宿泊学習（5年）は11月上旬を予定しています。詳しい日程や行き先などは、各学年だより等でお知らせします。

PTA 行事である親子登山も9月19日（日）に予定されていましたが、今年度は中止となりました。合わせてお知らせします。

2 オリパラから学ぶ

1学期終業式で私は、オリンピックの話をしました。パソコン画面をスクリーンに映して、期待の種目、普段見られないオリンピックならではの注目種目、福井県のオリンピック選手などを紹介した後、私が一番注目している選手を紹介しました。それは水泳の池江璃花子選手です。

金メダル候補の18歳。突然の白血病。苦しい抗がん剤治療。そこから苦難を乗り越え、家族や周りの人々からの励ましを得て、奇跡のカムバックを果たし、再度オリンピックに挑戦、その結果リレーの選手として念願のオリンピック出場を果たした話をしました。

オリンピックには、選手の苦難を乗り越えるための様々なストーリーがあります。子どもたちにもそうしたストーリーを試合と合わせて知ってほしいと思いました。

実際に池江選手が出場したリレーは決勝で8位に終わりましたが、池江選手の最後の言葉にぐっとくるものがありました。「1度はあきらめかけた東京五輪だったんですが、リレーメンバーとして決勝の舞台で泳げて、すごく幸せだなと思います」

卓球の男子、女子、混合、マラソンの男女、フェンシング男女、陸上男子リレー、水泳、野球、サッカーなど選手の生き様を知りながらの競技観戦は感動の連続でした。

現在パラリンピックをやっていますが、パラリンピックの選手はさらに、その生き様において、苦難のストーリーがあります。その苦難をどのように乗り越え、この舞台に出場してきたのか、子どもたちに何かの機会に話したいと思います。

